

分野：① 自然への愛着

小学校2年生 生活授業「どこにいるかな、なにがにいるかな」

環境アドバイザー

清水 秀文

対象 川口市立根岸小学校 2年 (69人)

所要時間  2時間35分

場所 川口市立根岸小学校

実施時期 令和2年9月29日

概要

小学校2年生 生活授業

「どこにいるかな、なにがにいるかな」

小学校の中庭など屋外にて、どんな生き物が、どんなところで生息しているのか、自分で実際に生き物を捕まえて考える

プログラムの
ねらい

草の茂っているところ、枯れ草のところ、枯れ葉、石の裏などにいる生き物を捕まえて、名前を調べる。

なぜ、そのような場所にいるのか考える

プログラムの内容

1 挨拶・注意事項説明 (15分)

屋外の自然の中での活動なので、怪我や毒虫刺されなどの事故防止のために、図鑑などの本を使って説明。特に、注意する生き物 蜂や毛虫、ムカデなど良く見る生き物に加え、名前の分からない生き物は手で触らないように注意した。

2 カブトムシの幼虫やオオゴマダラのさなぎ (金色)・蝶を見せる。(10分)

生き物の不思議さを実際の生き物を触れさせ、また見せて興味、関心を喚起させる

3 校内の中庭、裏庭などで生き物を捕まえて、名前を調べる。(95分)

なぜ、そこに居たのかを考える

4 裏庭のカブトムシ飼育箱に枯れ葉を搬入 (15分)

受講者の反応

小学校低学年の子ども達なので、生き物に対する興味は強い。

しかし、普段外で遊ぶ機会が少なく、自然に接する機会がないのか、生き物の捕まえ方が分からない、捕まえ方を知らない子どもが多く見られた。

こつを教えると上手に捕まえられるようになった。自然への関心を喚起させるためにも、機会を増やしたいと感じた。

環境学習の様子（写真）



